

第13回日本総合歯科学会総会・学術大会の報告

廣 藤 卓 雄 (大 会 長)
大 山 茂 (副 大 会 長)
森 田 浩 光 (準 備 委 員 長)
山 田 和 彦 (実 行 委 員 長)
山 本 繁 (大 会 事 務 局)

一般社団法人化後の第1回目となる第13回日本総合歯科学会総会・学術大会は、令和2年10月31日から11月1日の2日間に福岡県歯科医師会館にて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、やむなく理事会にてWeb・誌面開催が決定され、大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部 長島 正教授のご協力のもと、令和2年10月30日から11月3日、11月7日から8日の2部構成にて、「地域医療を支える総合歯科医」をテーマとして、特別講演1題、教育講演1題、シンポジウム2題を企画し、開催されました。



鳥井理事長挨拶



廣藤大会長挨拶

Web 配信の内容としては、日本総合歯科学会理事長 鳥井康弘先生および大会長 廣藤卓雄の挨拶につづき、特別講演は福岡市歯科医師会会長 神田晋爾先生に「政令指定都市・福岡における地域医療連携構想」というテーマで、これまで福岡市歯科医師会が行政・福祉さらには医科と連携して、地域包括ケアシステムの構築に貢献してきた内容について、さらには全国に先駆けた取り組みとして、行政と連携した新型コロナウイルス感染症対策としての在宅高齢者への歯科検診・口腔ケア推進事業の概要についてまで、幅広い活動内容をご講演いただきました。



特別講演：神田晋爾 先生

教育講演では、日本総合歯科学会元理事長である樋口勝規先生に「日本総合歯科学会のレゾナートル」というテーマで、樋口先生のこれまでのご経験をもとに、地域医療における総合歯科医のあるべき姿についてご講演いただきました。

また、シンポジウム1では、「歯科心身症患者へのアプローチ～はじめの一步～」のテーマで、東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科全人的医療開発学講座歯科心身医学分野の豊福 明教授を座長兼シンポジストとして、歯科心身症患者への診療の歴史的背景および現在の世界的な診療の流れをわかりやすく解説していただいた上で、福岡歯科大学心療内科学分野の金光芳郎 教授には医科の立場から、また福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野の梅崎陽二郎先生には歯科の立場からの歯科心身症患者へのアプローチをご講演いただきました。さらに、シンポジウムの最後には、歯科心身症患者に対する総合歯科医の役割をディスカッションしていただきました。



シンポジウム1：左から金光芳郎先生，豊福 明先生，梅崎陽二郎先生

一方、シンポジウム2では、「歯科訪問診療の今」をテーマに、北海道医療大学の川上智史教授の座長のもと、福岡県歯科医師会専務理事 川端貴美子先生，日本歯科大学新潟病院訪問歯科・口腔ケア科 赤泊圭太先生，原土井病院副院長 岩佐康行先生，太田歯科医院院長 太田博見先生といった，訪問診療および摂食嚥下リハビリテーションのスペシャリストの先生方による，最前線での診療活動についてご紹介いただきました。

今回の総会・学術大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、急遽 Web・誌面開催へ変更になったことから、参加者数の大幅な減少が懸念されましたが、結果として、申込参加者数 186 名，一般演題 23 題，教育講演におきましては、視聴回数が 226 回を数え、これまでの総会・学術大会に引けを取らない参加者・視聴者・発表者数となりました。あらためまして、ご参加いただきました皆様方に心より御礼申し上げます。

最後に、本学術大会を開催するにあたり、ご指導賜りました鳥井理事長をはじめ理事・役員の皆様，Web 配信および視聴管理につきまして、多大なるご支援・ご協力を賜りました大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部長 島 正教授ほか医局員の皆様，特別講演，教育講演，シンポジウムにて座長・講師を快くお引き受けいただきました皆様，本学術大会を共催していただきました一般社団法人福岡県歯科医師会の関係者の皆様，さらに協賛いただきました企業の皆様，誌上をお借りして深く御礼申し上げます。